

令和 3 年 2 月吉日

成蹊ラグークラブ会員各位

成蹊ラグークラブ
100 周年実行委員会

成蹊ラグビー100 周年記念事業に対する寄付のお願い

会員の皆様におかれましては、平素より成蹊ラグークラブの活動に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

過去の資料によれば、成蹊学園におけるラグビー部の創部は 1923 年（大正 12 年）当時の成蹊中学校の生徒達が（我々にとっての大先輩という事です）、学校にラグビーボールを持ち込み、テニスコートで遊び始めたのがきっかけとされています。他校でも 1923 年前後が創部年となっているケースが多く、日本ラグビーフットボール協会の設立が 1926 年ですから、成蹊も日本ラグビーの黎明期からその発展を支えてきた古豪の高校ということになります。

日本のラグビー界は、2019 年ラグビーワールドカップの開催国を務め、商業的に見事な成功を収めただけでなく、日本代表の戦績という観点でもワールドカップで初のベスト 8 進出という偉業を成し遂げたことは、まだ記憶に新しいと思います。献身的なタックルの積み重ね、少ないチャンスを逃さず得点に結びつける卓越した集中力等々、日本代表の崇高なパフォーマンスに、魂を揺さぶられた方も多いのではないのでしょうか。

同時に、世界のラグビーがルール改正や制度の変更でより激しく、より早いプレーが増加し、選手の大型化、競技の高度化が加速度的に進んでいる事実を目の当たりにされたことと思います。競合校においても特に大学のトップレベルにおいては、プロコーチの採用、科学的なトレーニングや専門的な栄養学に基づく食事管理、綿密なデータ分析などは、今や当たり前の時代となりました。

このような大きな環境変化が起こっている中で、成蹊ラグビーも 2023 年に 100 周年を迎える訳ですが、本書面をもちまして、100 周年記念事業の実行、並びに成蹊ラグークラブの益々の発展の為に、皆様からの寄付を募らせて頂きたい、ご協力の程、衷心よりお願い申し上げます。

100 周年実行委員会と致しましては、成蹊ラグークラブが元々掲げる「会員相互の親睦と成蹊学園ラグビー部の強化発展を図る」という活動目的に立ち返り、以

下の２軸で、記念事業の準備、検討を進めて来ております。

【現役強化に直結する施策】

トレーニング環境改善を目的とし、理事会の承認を頂きウェイトトレーニング機器の追加購入を決定いたしました。特に成蹊大学ラグビー部の環境はトレーニング面のみに限らず、上位校との比較において大きく劣後するものであること、ご想像に難くない事と思います。現役学生からは少しでもその是正に繋がる本施策への期待値が高かったことから、寄付金募集よりも先行して実行を決定したものです。（実際の機器購入費用は、これまでの積立金より一旦充当させて頂く予定です）追加購入した機器は、成蹊学園に寄付する形をとることで、学園施設内への設置にご了解を頂いております。（大学体育館、南体育館）

今後は、高校・中学・小学校へのサポート案も具体化して参ります。食事や安全管理での援助を含め、様々な形でのサポートが可能と考えております。

【次の１００年に向けた成蹊ラグークラブの永続的発展】

優秀な文武両道の人材の継続的な輩出を目指すと共に、小中高大の一貫校の強みを活かした、成蹊ラグビーの長期的な発展を実現するべく、成蹊ラグークラブ内外の縦横連携体制の再構築、成蹊学園やファンクラブとの連携強化も行って図って参ります。

これを実現するためには、ラグークラブとしての継続性のある資金確保も不可欠である事から、年会費・寄付金募集システムの再構築についても検討しております。

以上、成蹊ラグークラブ 100 周年記念事業に対する取組方針、内容についてご説明させて頂きました。会員の皆様におかれましても、当該主旨にご賛同いただけますと大変幸甚です。今回の寄付金に関する諸手続きにつきましては、別紙パンフレットをご参照いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上